

資料 2

令和6年度第1回新潟県がん診療連携協議会研修教育部会議事要旨

- 1 日 時 令和6年10月18日(金) 16:30～17:15
- 2 開催方法 オンライン(Zoom)
- 3 出席者 別紙のとおり

議事に先き立ち、若井部会長より挨拶があった。

4 議 事

(1) 各病院における研修会の実施状況について(資料 1)

事前に報告いただいた各病院における研修会実施状況について取りまとめた旨、資料1に基づき報告があり、確認を行った。

(2) がんに関わる専門職の配置状況について(資料 2)

事前に行ったアンケート「各病院におけるがんに関わる専門職の配置状況について」資料2に基づき、報告及び確認を行った。

若井部会長より、各病院において認定・専門資格を取得、更新することへのサポートは重要であること、また、看護師業務は非常に多岐にわたり大変と思うが、がん治療の複雑化もあり、医師及び薬剤師の育成については、今後、特に強化が必要と考えている旨、発言があった。

また、薬剤師の育成状況については、県立がんセンター田中委員より、自院の育成の状況を、遺伝カウンセラーの育成状況については、若井部会長より県内の育成状況について紹介があった。

なお、県や院内の上層部に対してがんの専門資格取得のためのサポートについて理解を得るためにも、新潟県立がんセンター新潟病院、県立新発田病院及び新潟大学医歯学総合病院を中心に、薬剤師の県内研修教育施設等について、整理し、取りまとめることとした。

(3) がんに関わる職員の人材育成について(資料 3)

事前に行ったアンケート「がんに関わる職員の人材育成について」、資料3に基づき、出席された各病院より説明後、ディスカッションを行った。各病院における主な人材育成への取り組みや課題等は以下のとおり

【県立新潟がんセンター新潟病院】

看護師は、がん看護の研修をコース別に設けている。一部は院外看護職員も対象。

薬剤師は、がん指導薬剤師が在籍し、専門薬剤師の育成を継続中。県立病院間の異動や給与面での有資格者へのインセンティブは課題。また、OJTで支援する人材の育成やアセスメント力の向上も課題。

【新潟大学医歯学総合病院】

資格取得へのサポートは行っているが、強化必要。専門資格を持つ人材が不足、既取得者の負担が大きいため、人材育成の充実は課題。

また、急性期病院における細やかな緩和ケア診療は上手くなじまず非常に苦労している。

【新潟市民病院】

認定看護師を目指す職員、後継者が少なく、人材育成は課題。

【新潟県立中央病院】

人材育成の遅れ、業務量が多く、資格を取るための時間の確保が難しいこと、異動の問題。

【魚沼基幹病院】

専門看護師育成中であるが、がん看護に興味が少ない。業務多忙により資格取得を目指すことができない、給与面でのインセンティブもないため、モチベーションが上がらない。

ゲノム関連では、認定遺伝専門医取得を目指している医師1名、認定遺伝カウンセラーを目指し、次年度から新潟大学大学院(修士課程)に看護師1名入学が決まった。看護師の大学院費用は、病院負担。

【済生会新潟病院】

看護師は、がん看護に関する研修は自己研修が多いため、やる気に左右されるところがある。また、認定看護師は日常業務に加えて認定看護師の業務を行っているため、周囲の看護師からは忙しそうに見えるのか、なかなか認定看護師を目指してくれる人がいないのが現状である。認定看護師の資格取得は、出張扱いで研修費も病院が負担してくれる

ので、資格取得の環境は整っている。

薬剤師は、新人にはレジメンに関わってもらい基本的なことを学んでもらう。また入職年に緩和ケア研修会に参加。配属の関係からがん治療に関われないことの課題。

【柏崎総合医療センター】

看護師は、緩和ケア委員会で終末期緩和ケアをテーマにした研修会を行ったりしているが、癌に特化した育成の取り組みまで達成は出来ていない。

薬剤師は、資格更新のための研修会等への参加補助あり。

医師については若手のローテーターが多い為、関わりが難しい。

【上越総合病院】

がん診療連携拠点病院を目指して努力しているが、現在、がん専門看護師の在籍無し。育成が難しい。

【西新潟中央病院】

薬剤部は、新規の抗がん剤やレジメンについて勉強会開催し、また看護師に対して定期的に勉強会を開催。肺がん以外の疾患に対する知識の不足を感じている。転勤が多いため、人材育成難しい。

【佐渡総合病院】

毎週活発なカンファレンスをして、チームメンバーが各病棟の看護師にレクチャーをしているため、緩和ケアに関してはかなり充実している。認定看護師が少ないが、地理的事情により取得を目指すことのハードルが高い。

今後の研修会テーマについては、がんゲノム、irAE、緩和ケア、ACP、人材育成、地域連携の推進、ケモブレイン、がん治療中(化学療法中)の運動療法等の回答があった。

若井部会長より、人材育成は、診療報酬上の加算要件にも関わるため、専門資格取得のための人材育成は必要であるが、がん診療に関わりを希望する医療者は少なくなっているため、検討していきたい旨、発言があった。

(4) その他

若井部会長より、以下のとおり情報提供があった。

- ・2025年2月開催がんゲノム協議会后セミナーにおいて、人材育成に関する講演を予定していること。
- ・2025年5月がん対策事業の一環で開催のがんカフェにおいては、患者団体からの協力を得て、ペイシエントハラスメントへの対応として、患者の節度ある病院受診に向け、市民講座等を予定していること。
- ・電子署名のための HPKI カードについて及び麻薬免許証番号が変更していることがあるため注意が必要であること。

令和6年第1回新潟県がん診療連携協議会研修教育部会 出席者名簿

部 会 員			
病院名	所 属	職 名	氏 名
新潟県立がんセンター 新潟病院	消化器内科	情報調査部長	塩路 和彦
	看護部	看護副部長	西村 香
	薬剤部	薬剤副部長	田中 佳美
新潟大学医歯学総合病院	腫瘍センター(呼吸器感染症内科)	副部長	渡部 聡
	看護部	看護師長	下鳥 由紀
	薬剤部	副薬剤部長	笹原 浩康
新潟市民病院	消化器外科	副部長 がん診療支援室長	佐藤 大輔
	看護部	看護師	三富 弘子
長岡赤十字病院	消化器内科	部 長	吉川 成一
	看護部	看護係長	大野 弘美(代理出席:白井直美(緩和ケアC師長))
新潟県立中央病院	内 科	副院長	船越 和博
	がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
魚沼基幹病院	腫瘍センター 通院治療室、 消化器内科	腫瘍センター 通院治療室長・ 消化器内科部長	阿部聡司
	腫瘍センター 通院治療室、 看護部	外来主任看護師 (がん化学療法認定看護師)	小川るり子
済生会新潟病院	外科	副 院 長	坪野 俊広
	看護部	がん薬物療法看護認定看護師	高橋 由美
	薬剤部	係長	小竹 泰子
柏崎総合医療センター	看護部	看護師長	横関 泰江
上越総合病院	内 科	副院長	佐藤 知巳
国立病院機構 西新潟中央病院	薬剤部	調剤主任	佐藤 亜希穂(代理出席:金田 知詞(副薬剤部長))
佐渡総合病院	小児科	医師	岡崎 実

令和6年度第1回 新潟県がん診療連携協議会研修教育部会

1 日 時 令和6年10月18日(金) 16時30分～

2 開催方法 オンライン(Zoom)

3 議 事

(1) 各病院における研修会の実施状況について(資料 1)

(2) がんに関わる専門職の配置状況について(資料 2)

(3) がんに関わる職員の人材育成について(資料 3)

(4) その他

新潟県がん診療連携協議会 研修教育部会一覧表（令和6年度）

部 会 長	
病院名	新潟大学医歯学総合病院
所 属	腫瘍センター(消化器外科)
職 名	部 長(教授)
氏 名	若井 俊文

部 会 員			
病院名	所 属	職 名	氏 名
新潟県立がんセンター 新潟病院	消化器内科	情報調査部長	塩路 和彦
	看護部	看護副部長	西村 香
	薬剤部	薬剤副部長	田中 佳美
新潟大学医歯学総合病院	腫瘍センター(呼吸器感染症内科)	副 部 長	渡部 聡
	看護部	看護師長	下鳥 由紀
	薬剤部	副薬剤部長	笹原 浩康
新潟市民病院	消化器外科	副部長 がん診療支援室長	佐藤 大輔
	看護部	看護師	三富 弘子
長岡赤十字病院	消化器内科	部 長	吉川 成一
	看護部	看護係長	大野 弘美
長岡中央総合病院	腫瘍内科	部 長	小林 由夏
	看護部	看護師	三浦 一二美
新潟県立中央病院	内 科	副院長	船越 和博
	がん相談支援センター	副看護師長	樋口 伸子
新潟県立新発田病院	内科	部長	牧野 真人
	看護部	看護師長(7B)	柏木 夕香
	薬剤部	薬剤副部長	吉野 真樹
魚沼基幹病院	腫瘍センター 通院治療室、 消化器内科	腫瘍センター 通院治療室・ 消化器内科部長	阿部聡司
	腫瘍センター 通院治療室、 看護部	外来主任看護師 (がん化学療法認定看護師)	小川るり子
新潟労災病院	歯科口腔外科	部長	松井 宏
済生会新潟病院	外科	副 院 長	坪野 俊広
	看護部	がん薬物療法看護認定看護師	高橋 由美
	薬剤部	係長	小竹 泰子
立川総合病院	産婦人科	主任医長	永田 寛
	看護部	看護師長	吉岡 美鈴
柏崎総合医療センター	血液内科	部長	井田 桃里
	看護部	看護師長	横関 泰江
上越総合病院	内 科	副院長	佐藤 知巳
	薬剤部	部長	山本剛
国立病院機構 西新潟中央病院	呼吸器外科	特命副院長	渡辺 健寛
	看護部	看護師長	小林 明夏
	薬剤部	調剤主任	佐藤 亜希穂
佐渡総合病院	小児科	医師	岡崎 実

各病院における研修会の実施状況について

がん診療連携協議会研修教育部会

病 院 名	ページ
新潟大学医歯学総合病院	1
新潟県立がんセンター新潟病院	5
新潟市民病院	7
長岡赤十字病院	8
長岡中央総合病院	9
新潟県立中央病院	10
新潟県立新発田病院	13
魚沼基幹病院	14
済生会新潟病院	16
立川総合病院	19
柏崎総合医療センター	20
上越総合病院	21
西新潟中央病院	22
佐渡総合病院	23

新潟大学医歯学総合病院 R5年度がんに関わる研修実績

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2023. 4. 5	459回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	24	ハイブリット開催
2023. 4. 14	Niigata Breast Cancer 地域医療連携セミナー2023 特別講演 地域医療から考えるHR+HER2-進行再発乳癌治療の展望 東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野 教授 石田孝宣先生	医療者	—	ハイブリット開催
2023. 4. 21	神経内分泌腫瘍 Web Seminar 特別講演 NET診療におけるルタテラ静注の役割と運用における多診療科連携・地域連携の重要性 北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室II 土川貴裕先生	医療者	—	ハイブリット開催
2023. 5. 10	460回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	23	ハイブリット開催
2023. 5. 20	BTC Seminar in Niigata 2023 (新潟市) 特別講演 切除不能胆道癌治療のパラダイムシフト 神奈川県立がんセンター消化器内科部長 上野 誠先生	医療者	—	
2023. 5. 21	新潟県がん対策事業 新潟日報メディアシップ (新潟市) 「あなたが がんになる前に、なった後に、できること」 連続講演 「がん医療のいま」 1) 肺がんについて 新潟医療センター病院長 吉澤弘久先生 2) 大腸がんについて 新潟大学医歯学総合病院がんゲノム医療センター特任助教 中野麻恵先生 3) 緩和ケアについて 新潟県立がんセンター新潟病院緩和ケア科 本間英之先生 4) 女性のがんについて 新潟市民病院乳腺外科 利川千絵先生 5) 総合討論	市民、医療者	約400	ハイブリット開催
2023. 5. 22	第7回北信越小児がんカンファレンス (日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング)	医師	28	Web開催
2023. 5. 26	第22回新潟DIF研究会 (新潟市) 講演II 複雑化する周術期乳癌薬物療法～我々はどう対応すべきか～ 愛知県がんセンター 副院長兼乳腺科部長 岩田 広治先生	医療者	—	
2023. 6. 7	461回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	26	ハイブリット開催
2023. 6. 9	免疫チェックポイント阻害薬セミナー (新潟市) 特別講演I 食道癌薬物治療における免疫チェックポイント阻害薬—最近の話題— 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科学分野 助教 市川 寛先生 特別講演II dMMR固形癌の診療 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科学分野 講師 島田 能史先生	医療者	—	
2023. 6. 23	Niigata Breast Cancer Conference 2023 (新潟市) 特別講演 最新知見を踏まえた乳癌の治療戦略 兵庫医科大学乳腺・内分泌外科 准教授 永橋 昌幸先生	医療者	—	
2023. 7. 5	462回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	24	ハイブリット開催
2023. 7. 24	第8回北信越小児がんカンファレンス (日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング)	医師	—	Web開催
2023. 8. 2	463回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	21	ハイブリット開催
2023. 8. 9	第4回新潟大学医歯学総合病院 小児がん医療センター研修会 (院内) 講演 小児の口腔ケアの実際 新潟大学医歯学総合病院 歯科放射線科 勝良剛詞先生	小児がん診療に携わる医療者	15	
2023. 8. 30	新潟 Breast Cancer Meeting (新潟市) 講演② 病理診断の新展開～乳がんHER2低発現～ 国立がん研究センター中央病院 病理診断科 吉田 正行先生	医療者	—	
2023. 9. 6	464回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	23	ハイブリット開催

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2023. 9. 14	臨時新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	10	ハイブリット開催
2023. 9. 25	第9回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	23	Web開催
2023. 10. 4	465回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	20	ハイブリット開催
2023. 10. 5	Breast Cancer Seminar in Niigata 2023（新潟市） 一般講演 gBRCAに起因する遺伝性消化器癌の精密医療～胃癌を中心に～ 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器・一般外科学分野 助教 市川 寛先	医療者	—	
2023. 11. 27	第10回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	28	Web開催
2023. 11. 1	466回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	21	ハイブリット開催
2023. 11. 20	Niigata Breast Cancer 地域医療連携セミナー（新潟市） 講演 新潟県の乳がん診療を支援する当科の取り組み 新潟大学医歯学総合病院乳腺・内分泌外科 土田純子先生 特別講演 イブランス 5年間の実績から考える乳癌治療 国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科 医長 下井 辰徳先生	医療者	—	
2023. 11. 24 ～12. 31	『にいがた乳がん学校2023』 1. 疫学・検診・診断法 新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野 内田 遥 先生 2. 手術・放射線治療 新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野 諸 和樹 先生 3. 乳がん周術期の薬物療法 新潟市民病院 乳腺外科 利川 千絵 先生 4. がん薬物療法における有害事象対策 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 坂井 由紀 先生 5. 乳がんケアと意思決定支援 新潟大学医歯学総合病院 腫瘍センター 園部 里美 先生 6. 遺伝カウンセリング・がんゲノム医療における意思決定支援 新潟大学医歯学総合病院 ゲノム医療部遺伝医療センター 栗山 洋子 先生 7. 遺伝性乳がん卵巣がんとはがんゲノム医療 新潟大学大学院 消化器・一般外科学分野 土田 純子 先生	医療者	—	講義配信形式
2023. 12. 6	467回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	27	ハイブリット開催
2023. 12. 20	Chugai Genome Web Symposium in Niigata（新潟市） 特別講演②-1 TMB-H大腸癌診療の現状 新潟大学消化器・一般外科 講師 島田 能史先生 特別講演②-2 HER2陽性大腸癌診療について 新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 部長 野上 仁先生	医療者	—	
2024. 1. 10	468回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	26	ハイブリット開催
2024. 1. 22	第11回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	25	Web開催
2024. 2. 7	469回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	30	ハイブリット開催
2024. 2. 17	がんゲノム医療カンファレンス2024 in 新潟 Opening Lecture がん診療連携強化事業について 新潟県立がんセンター新潟病院 院長 田中 洋史先生 特別講演 がんゲノム医療の課題とあるべき姿 京都大学大学院異学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授 武藤 学 先生	医療者	—	ハイブリット開催

開催日	内容	対象者	参加人数	備考
2024. 2. 17	第5回 新潟県小児がん患者・家族支援研修会 ・『妊孕性温存療法、AYA世代支援の現状と課題～MSWの立場から～』 新潟大学医歯学総合病院 患者総合サポートセンター 医療ソーシャルワーカー 志田香奈子 先生 ・『AYA世代がん患者への心理支援について』 新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター 公認心理師・臨床心理士 川井智理 先生 ・『がん終末期の小児・家族を支える～多職種連携におけるがん看護専門看護師の役割～』 新潟県立がんセンター新潟病院 東7病棟 がん看護専門看護師 青海 直子 先生 ・『チャイルド・ライフ・スペシャリスト(CLS)活動報告～CLSとして、小児がん相談員として～』 新潟大学医歯学総合病院 小児がん医療センター CLS 田村 まどか 先生 ・『当院における小児がん相談員の活動について』 新潟大学医歯学総合病院 西6病棟 看護師 廣嶋 理恵 先生 ・『入院生活をおくる思春期のこどもたちを理解する』 国立成育医療研究センター 心理療法室 公認心理師・臨床心理士 柳楽 明子 先生	小児がん診療に携わる診療者等	45	ハイブリッド開催
2024. 2. 21	免疫療法セミナー in 新潟 胃癌治療の現場から～外科医が目指す長期生存のストラテジ～ 大阪国際がんセンター消化器外科 主任部長 胃外科長 胃がんセンター長 大森 健先生	医療者	—	ハイブリッド開催
2024. 3. 6	470回新潟悪性腫瘍研究会	小児がん診療に携わる医療者	28	ハイブリッド開催
2024. 3. 8	がんゲノム医療シンポジウム in 新潟 特別講演① 新潟大学大学院医歯学総合病院研究科消化器科・一般外科分野 講師 島田 能史 先生 『大腸癌でのリキッドバイオプシーの使いどころ』 特別講演② 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科 医長 森貴 千種 先生 『肝胆膵領域におけるリキッドバイオプシーの活用法』	医療者	—	ハイブリッド開催
2024. 3. 13	Niigata Breast Cancer Conference 2024 臨床試験結果を統計的視点から切り込む～Monarch試験を題材に～ 京都大学大学院異学研究か医学統計生物情報学 教授 森田 智視先生	医療者	—	ハイブリッド開催
2024. 3. 14	Breast Cancer Seminar in 新潟 最新エビデンスから考えるエリプリンの使いどころ 北海道大学病院 乳腺外科 教授 高橋 将人先生	医療者	—	Web開催
2024. 3. 25	第12回北信越小児がんカンファレンス（日本小児血液がん学会専門医研修 施設群ミーティング）	医師	26	Web開催

2023. 9. 18	令和5年度新潟大学医歯学総合病院緩和ケア研修会	医療者	23	
-------------	-------------------------	-----	----	--

2023. 4. 17 ～ 2023. 5. 15	がんサロン ①「痛みのコントロールについて」 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 緩和薬物療法認定薬剤師 工藤 範子 氏 ②「治療を支える運動療法」 新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 理学療法士 坂野 周平 氏, 岩崎 円 氏, 伊藤まゆこ 氏	患者・家族・医療者	86	YouTube配信
2023. 12. 18 ～ 2024. 1. 31	患者サロン ①「リンパ浮腫の基本的知識と悪化予防のポイント」 新潟大学医歯学総合病院 看護部 がん看護専門看護師・リンパ浮腫療法士 野口 美貴 氏 ②「がん治療に伴う外見の変化への支援」 一脱毛・爪・肌の変化などに対応するアピランス（外見）ケア～ 新潟大学医歯学総合病院 看護部 腫瘍センター がん看護専門看護師 園部 里美 氏 がん相談支援センター がん相談員・看護師 山際 直美 氏	患者・家族・医療者	205	YouTube配信

令和5年度 新潟大学医歯学総合病院 がん関連研修-看護部門-

1. 令和5年度実績

公開研修

実施なし

院内研修

1) 学研e-ラーニング受講

開催日時	研修名	講師	研修 受講者数
令和5年 4月1日～ 3月31日	CJ2302_AYA 世代における思春期のがん患者へのACP実践から学ぶ	多田羅 竜平 氏 大阪市立総合医療センター	42名
令和5年 4月1日～ 3月31日	CJ2301_ヤングケアラーの事例から考える重層的支援のあり方	中島 由美子 氏 訪問看護ステーション愛美園 所長	6名

2) Chugai Nursing Library on Hematology(オンライン研修)

令和6年 2月7日	アピアランスケア ・頭髪の脱毛 ・眉毛の脱毛 ・爪の変色	久野真知子氏 金沢医科大学病院	10名
令和6年 2月8日	アピアランスケア ・皮膚障害 ・乳房欠損	久野真知子氏 金沢医科大学病院	10名

3) キャリア開発支援研修

令和5年 10月13日	専門領域別研修 がん看護研修 「がん薬物療法の副作用に対するセルフケア支援」	化学療法認定看護師、 緩和ケア認定看護師(当院)	10名
----------------	--	-----------------------------	-----

2023年度

研修会・講演会等スケジュール - がんセンター新潟病院 教育企画委員会まとめ -

年月日	名称	会場	主催者	演者	対象者	実績
6月2日(金)17:30～	春季輸血講演会	講堂・Zoom	輸血療法委員会	赤十字輸血センター 瀬水悠花先生	全職員	講堂29名+Zoom13か所
5月28日(日)	2023年度緩和ケア研修会	講堂・Zoom	がんセンター	緩和ケア科 本間医師、生駒医師、中島医師、太田医師、精神科小林医師他	新潟県内の医療従事者(多職種)	24名
9月29日(金)17:30～	第1回院内講演会	講堂、Zoom	教育企画委員会	院長 田中洋史先生	全職員	119名
10月10日(火)15:15～	医療安全研修 「麻薬管理と安全使用」	講堂	リスクマネジメント部会	木村薬剤部長	全職員	31名
7月3日～7月25日	看護部長講演会	11部署	看護部長	長谷川看護部長	看護職員	—
7月28日～8月31日	ヒューマンエラーと医療安全	DVD研修	医療安全管理室	—	全職員	739名
8月26日(土)8月27日(日)	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	Zoom	緩和ケアセンター	横浜市立大学助教 林めぐみ助教、柏木夕香がん看護CNS他	新潟県内の看護職員	24名
11月1日～	三六協定・時間外勤務研修会	資料配布	管理部		全職員	—
10月20日(金)17:30～	令和5年度がん拠点病院放射線治療研修会	講堂・Zoom	放射線部放射線治療科	新潟脳外科病院 丸山 克也先生 他	全職員	52名(対面39名・Web13名)
10月25日(水)17:30～	第2回院内講演会	講堂、Zoom	教育企画委員会	小児科 小川淳先生、三富副看護師長、患サボ川井主任臨床心理員	全職員	75名
10月31日(火)16:30～	令和5年度在宅医療研修会	Zoom	患者サポートセンター	泌尿器科 谷川俊貴医師	新潟市内訪問看護事業所ほか	41名
11月15日(火)16:30～	令和5年度在宅医療研修会	Zoom	患者サポートセンター	牛腸明宏 薬剤師	新潟市内訪問看護事業所ほか	31名
11月29日(水)16:30～	令和5年度在宅医療研修会	Zoom	患者サポートセンター	小倉美智子 主任看護師	新潟市内訪問看護事業所ほか	46名
9月9日(土)13:30～	市民公開講座	だいしほくえつホール	広報委員会	新潟大学医歯学総合病院 関奈緒先生 他	市民	120名
10月28日(土)9:30～	新潟県がん相談支援センター相談員研修会	予防センター研修室A	患者サポートセンター	在宅ケアクリニック川岸町 若林文代氏	がん診療連携拠点病院等の相談員	
10月30日(月)17:45～	令和5年度いのちをめぐる連続講演会	YouTube配信	サポートケア委員会	がんカフェはなのね 遠藤ゆき子氏	全職員	—
10月30日(月)18:00～	令和5年度 臨床研究教育研修	講堂	倫理審査委員会	新潟大学 研究統括機構(倫理担当) 血液・内分泌・代謝内科 鈴木 浩史 先生	臨床研究を実施する当院職員	62名
12月中	介護保険制度への理解	各病棟	患者サポートセンター	患者サポートセンター職員	各病棟	病棟全スタッフ

年月日	名称	会場	主催者	演者	対象者	実績
12月1日	いのちをめぐる連続講演会	YouTube	サポートケア委員会	がんカフェはなのね 遠藤ゆき子氏	全職員	—
1月中	入院支援センターの役割	各病棟	入院支援センター	伊藤副看護師長 橋本専門員	各病棟	病棟全スタッフ
1月5日～2月5日	職場におけるハラスメント	DVD研修	医療安全管理室	—	全職員	708名
2月5日(月)	第2回院内輸血講演会	講堂+Zoom	輸血療法委員会事務局	血液内科 関臨床部長	全職員	講堂25名+Zoom23か所
2月8日(木)16:00～	第4回高齢者総合評価講演会	講堂+Zoom	サポートケア委員会	みどり病院院長 成瀬聡先生	全職員	
3月1日～3月31日	当院の就労支援	You Tube	患者サポートセンター	上山MSW	全職員	—
3月2日(土)13:00～	集談会	講堂	がんセンター(庶務課)	職員	全職員	39名
3月2日(土),3日(日)	がん患者QOL向上を目指したコミュニケーション技術研修会		がんセンター	がんセンター、協力:日本サイオンコロジ学会、日本緩和医療学会	がん医療経験3年以上の医師	2名
3月7日(木)18:30～	地域医療連携講演会	Zoom	患者サポートセンター	呼吸器内科 三浦医師 上山MSW 循環器内科 大倉医師 川井心理士	地域医療機関・全職員	38名
下記のとおり 17:30～18:15	がんゲノム医療センター講演会 「がん領域における遺伝医療の実際」(全5回)					
8月23日(木)	第1回 「遺伝性大腸がんについて」	Zoom+予防センター ネットワーク室	ゲノム医療センター	野上 仁 医師	全職員	23名
9月27日(木)	第2回「遺伝性乳がん 卵巣がんを学ぼう」	Zoom+予防センター ネットワーク室	ゲノム医療センター	西野 幸治 医師	全職員	40名
12月7日(木)	第3回「がんゲノムにおける看護師の役割」	Zoom+予防センター ネットワーク室	ゲノム医療センター	三富 亜希,佐久間智美	全職員	20名
1月25日(木)	第4回「当院における遺伝子検査の実際」	Zoom+予防センター 研修室	ゲノム医療センター	畔上 公子 検査技師	全職員	22名
3月14日(木)	第5回「当院における遺伝子パネル検査の実際」	Zoom	ゲノム医療センター	野上 仁 医師	全職員	20名

R5年度 研修会実施状況一覧(新潟市民病院)

◎新潟医療圏におけるがん診療に携わる医療者に対する研修セミナー

開催日	講師	参加者	講演内容
令和5年11月10日	乳腺外科 坂田英子 薬剤部 長谷川暢俊	39名	・「乳がん診療における病薬連携」 講師:乳腺外科 坂田英子 ・「大腸がん薬物療法における副作用評価のポイント」 講師:薬剤部 長谷川暢俊

◎がん関連市民公開講座

開催日	講師	参加者	講演内容
令和5年11月20日	阿部徹哉 呼吸器内科部長	31名	「肺がんの診断と治療」
令和6年3月22日	野本優二 緩和ケア内科部長	17名	「それは誤解です」ー緩和ケア受診をためらっている方へー

◎拡大がんサーボード

開催日	演者	参加者	演題
令和5年5月23日	中山 遥子 (脳神経外科)	16名	当院における転移性脳腫瘍に対するサイバーナイフ治療の現状
令和5年7月25日	佐藤 大輔 (消化器外科)	10名	隣癌外科診療における支持薬物療法
令和5年9月26日	利川 千絵 (乳腺外科)	9名	新規抗HER2療法 エンハーツによる薬剤性肺炎～乳がんによる使用経験～
令和5年12月25日	常盤 かおり (緩和ケア)	10名	まとめないACP ～みんなで話そう私たちのこと～
令和6年1月23日	小林 朝美 (MSW)	13名	がん医療におけるコミュニケーション 個別のSDM実践に向けて ～身寄りがなく知的障害をもつ終末期がん患者への支援から～
令和6年3月26日	池田 多朗 (泌尿器科)	9名	ペンプロリスマブ投与後に血小板減少を認めた膀胱癌の一例

◎新潟市民病院がん診療に携わる医療者に対する緩和ケア研修会

開催日	修了者
令和5年10月22日	13名

長岡赤十字病院 令和5年度 がんに関する研修

開催日	研修名	講師	対象職種	参加人数
令和5年6月11日	がん医療に携わる 医療者のための緩和ケア研 修	院内・院外 講師多数	がんに関連する職員、地 域の医療関係者	34名 (院内33名、院外1名)
令和5年11月30日	ACP 講演会	長岡中央総合病院腫瘍内 科 松本吉史先生	職員、地域の医療関係者	67名 (院内48名、院外19名)
令和5年12月21日	看取りのいろは ～おだやかな最期のため に医療者がすべきこと～	当院緩和ケア科部長 佐藤直子先生	職員、地域の医療関係者	30名 (院内25名、院外5名)

看護部門

開催日	研修名	講師	対象職種	参加人数
令和5年8月31日	抗がん剤の安全な投与につ いて	当院認定看護師 (がん化学療法看護)	院内看護師	院内：21名
令和5年10月10日	がん看護に必要な基礎知 識 情報収集編	当院専門看護師 (がん看護専門看護師)	院内看護師	院内：15名
令和5年11月9日	がん化学療法の看護	当院認定看護師 (がん化学療法看護)	院内看護師	院内：14名
令和5年12月12日	意思決定支援 基礎編	当院専門看護師 (がん看護専門看護師)	院内看護師	院内：14名

2023年 院内がんセミナーの開催状況

2023年	テーマ	講師	会場参加人数 (名)	ZOOM参加 (名)	web閲覧数 (2024年7月1日現在)
4月10日	がん治療オーダーのお約束	薬剤部)佐藤 康	10	0	67
5月25日	あきらめない大腸がん外科治療	外科)西村 淳	会場なし	5	68
	がんリハビリ	リハビリテーション科) PT:渋谷朋美	18	3	33
7月10日	頭頸部がんの薬物療法	耳鼻咽喉科)岡部 隆一	19	zoom(6名) 薬薬連携 (5事業所)	65
8月	休み				
9月11日	病院でかかるお金の話	医事課)田邊俊一	21	1	18
10月16日	肺がん治療1	呼吸器内科)林 芳樹	14	1	8
11月13日	肺がん治療2	呼吸器内科)林 芳樹	16	0	16
12月11日	膵がんの治療	腫瘍内科)小林由夏	17	0	6
1月	休み				
2月19日	血液がんの治療	血液内科)坪井 康介	14	0	17
3月11日	卵巣がんの治療	産婦人科)加勢宏明	20	4	7

2023年 市民公開講座の開催状況

10月7日	<p>病院祭プログラム企画 市民公開講座「知りたい大腸がんのこと～内科の立場、外科の立場～」 司会：腫瘍内科)外池 祐子 講師：外科)平井 裕美子 消化器内科)吉田 耕太郎 参加者：会場は自由参加のため人数把握は実施しなかった</p>
-------	---

令和5年度 研修会実施状況

新潟県立中央病院

1.市民がん公開講座

・第13回 市民がん公開講座 「がんと治療の進歩」 参加者：106名

2.緩和ケア研修会 (がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針に準拠)

開催日	参加人数
10月15日	17名

3.がんサロン 主催：患者サポートセンター・がん相談支援センター

研修会名	開催日	参加人数	対象者
がんところの向き合い方	7月20日	8名	がんに関心のある方-
がん療養中の食事について～食べれない時の工夫～	9月21日	5名	
アピアランスケア	11月16日	1名	

4.緩和ケア学習会 主催：緩和ケア委員会

研修会名	参加人数	対象者	備考
家族ケア	316名	院内職員	PDF 閲覧
医療用麻薬	226名		

5.化学療法学習会 主催：抗腫瘍安全推進委員会

研修会名	開催日	参加人数	対象者
抗がん剤の副作用対策	5月25日	33名	院内職員
婦人科がんの最近の薬物療法	9月28日	24名	
乳がんの最近の薬物療法	1月25日	24名	

6.がん看護専門研修 主催：看護部

研修会名	参加人数	開催日	対象者	備考
1.がん看護学概論	65名	11月1日 ~1月31日	看護部全職員	動画形式閲覧 (ナースィング スキル)
2.緩和ケア				
3.がん手術療法看護				
4.がん放射線療法の看護				
5.がん薬物療法の看護				

7. キャンサーボード 主催：がん相談支援センター運営委員会

テーマ	担当科	開催日	参加人数	対象者
HCC に対して TACE 後、残存病変に対し S R T を施行した症例	放射線治療科	4 月 24 日	9 名	院内職員
大腸癌に合併したリヒター症候群の一例	血液内科	5 月 22 日	18 名	
絨毛癌レジメンが奏功した精巣混合性胚細胞腫瘍の一例	泌尿器科	6 月 26 日	17 名	
非典型的な転移を来とし、悪性リンパ腫併発と鑑別した下咽頭癌	耳鼻咽喉科	7 月 24 日	19 名	
E G F R L 858 R 有する右肺腺癌術後、同側肺門および縦隔リンパ節の腫大が生じているが、病理学的には再発の確定に至っていない一例 -治療方針の検討-	呼吸器内科	8 月 28 日	17 名	
化学療法が奏功し、根治切除しえた直腸癌例	外科	9 月 25 日	13 名	
高齢再発下顎歯肉癌患者に対して P C E 療法が奏功した症例	口腔外科	10 月 23 日	11 名	
ICI 併用化学療法が著効した手術不能な進行子宮頸癌の一例	婦人科	11 月 27 日	17 名	
V H L 病を背景とした膵神経内分泌腫瘍の一例	消化器内科	12 月 25 日	13 名	
胆嚢結腸瘻から発生した瘻孔癌の一例	外科	1 月 22 日	13 名	
神経症状を伴う脊椎/脊髄周囲腫瘍に対して放射線治療を試行した 2 例	放射線治療科	2 月 22 日	12 名	
びまん性大細胞癌 B 細胞リンパ腫に対する新たな標準治療である P o l a - R - C H P 療法を行った症例	血液内科	3 月 25 日	9 名	

令和5年度 がんに係る研修会実施状況

開催日	名称	場所	内容	備考
令和5年9月30日	新潟県緩和ケア研修会	県立新発田病院 5F大会議室	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針（平成29年12月1日付健発1201第2号厚生労働省健康局長通知）及び「新潟県緩和ケア研修会（単位型）標準プログラム」に準拠したもの	参加者 21人
令和5年11月6日	がん診療委員会院内講演会	県立新発田病院 5F大会議室	「がん相談について」 講師 患者サポートセンター 齊藤 愛里相談員	参加者 28人
令和6年2月8日	第176回 新発田病院公開講座	県立新発田病院 5F大会議室	「臨床研修医による研修結果発表」 司会 教育研修センター長 田邊 恭彦	参加者 29人
令和6年3月4日	がん診療委員会院内講演会	県立新発田病院 5F大会議室	「頭頸部癌について」 講師 耳鼻咽喉科 甲斐 竜太	参加者 28人

令和5年度

がん相談支援センター

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和5年6月18日(日)	魚沼基幹病院 講堂	がん患者サロン「ケア帽子を作ろう！」	がん患者・ 家族・経験 者	①の帽子づくり モカ 穴沢孝久 様	がん相談支援 センター	10名	
2	令和5年10月1日(日)	魚沼基幹病院 講堂・多目的ホール	がん患者サロン 「泌尿器科のがんのおはなし」	どなたでも	泌尿器科 西山勉医師	がん相談支援 センター	30名	
3	令和5年12月3日(日)	魚沼基幹病院 講堂・多目的ホール	がん患者サロン 「栄養療法で心身ともに元気なからだをつ くろう！」	どなたでも	管理栄養士 篠原未希様	がん相談支援 センター	19名	
4	令和6年3月17日(日)	魚沼基幹病院 講堂・多目的ホール	がん患者サロン 「リンパ浮腫を知ろう～リンパ浮腫の予防 と対策～」	どなたでも	美波リンパケア センター看護師 中町みえ様	がん相談支援 センター	30名	

通院治療室

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和5年10月5日(木)	講堂・多目的ホール	がん診療に関する勉強会 「ここまでできるがん訪問看護」	公開研修	南魚沼訪問看護 ステーション 所長 若井豊子	通院治療室	77名	
2	令和6年3月7日(木)	講堂・多目的ホール	がん診療に関する勉強会 「がん化学療法中の口腔ケアについて」	公開研修	魚沼基幹病院 歯科口腔外科 部長 加納浩之	通院治療室	49名	

緩和ケア室

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和5年8月27日(日)	講堂・多目的ホール	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和 ケア研修会 (がん等の診療に携わる医師等に対する 緩和ケア研修会の開催指針準拠)	公開 研修	院内講師	緩和ケア室	24名	
2	令和6年3月12日(火)	講堂・多目的ホール	①肺がんの診断と治療 ②がん相談支援センターについて	院内	①呼内 野川医 師	緩和ケア室	59名	

令和5年度

腫瘍センター

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和6年3月14日(木)	オンライン	魚沼圏域自殺予防研修会 がん患者の自殺対策	居宅介護 支援事業 所、地域 包括支援 センター、 相談支援 事業所、 病院、行 政福祉保 健関係課 の職員	院内講師	新潟県魚沼地 域振興局健康 福祉部 新潟県十日町 地域振興局健 康福祉部(事 務局) 魚沼基幹病院 共催	59名	

看護部

No	日付	会場	内容	対象	講師	主催	参加者数	備考
1	令和5年9月6日	多目的ホール+リニアック室	放射線治療の有害事象と看護、リニアック室見学	院内外看護師	青木 瞳	看護部	25名	
2	令和5年6月15日	東7	がん化学療法の基礎を理解し、暴露対策が分かる	臨床経験2年 目看護師他	小川るり子	新人教育委員会	38名	
3	令和5年7月13日	東7	内服抗がん剤に関する知識を得て、安全に投与することが出来る	臨床経験1年 目看護師他	小川るり子	新人教育委員会	28名	
4	令和5年8月22日	多目的ホール	安全な抗がん剤投与を目的とした穿刺	助産師 看護師	小川るり子	看護師医療安全委員会	8名	
5	令和5年7月18日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	12名	
6	令和5年8月30日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	15名	
7	令和5年9月20日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	23名	
8	令和5年10月23日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	24名	
9	令和5年11月15日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	14名	
10	令和5年12月20日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	16名	
11	令和6年1月31日	多目的ホール	看護師のがん化学療法看護の知識習得	卒後2年目以 上の看護師	小川るり子	化学療法委員会(看護部)	13名	
12	令和6年1月25日	ACU	緩和ケア・症状マネジメント生活のしやすさ質問票・ACP	看護師	石田可奈子	救命救急センター	11名	
13	令和5年10月3日	中央処置室	CVポートの穿刺・抜針時の注意点を学ぶ	中央処置室 看護師	小川るり子	中央処置室	3名	
14	令和5年10月26日	講堂	がん告知後の患者の心理とケアを学ぶ	外来スタッフ	石田可奈子	外来教育係	13名	
15	令和5年12月21日	講堂	がん告知後の患者の心理とケアを学ぶ	外来スタッフ	石田可奈子	外来教育係	13名	
16	令和5年10月24日	西4	CV-P管理、穿刺、抜去ができる	西4看護師	小川るり子	西4ケモ委員	9名	
17	令和5年11月30日	西4	CV-P管理、穿刺、抜去ができる	西4看護師	小川るり子	西4ケモ委員	8名	
18	令和5年8月22日	東6	病棟編成で泌尿器科を担当する看護師向けに当 院で行う泌尿器領域の放射線治療と看護を伝える	東6看護師	青木 瞳	東6泌尿器科担当	6名	

研修会実施状況一覧(令和5年度)(済生会新潟病院①)

<抗がん剤 IV ナース関連 (化学療法委員会・看護部共同開催) >

開催日	研修名	内容 (敬称略)	参加人数
2023年11月9日(木)	抗がん剤 IV ナース認定講習会	<p>■院内認定資格「抗がん剤 IV ナース (化学療法施行時の末梢静脈ルート確保及び中心静脈ポートへの点滴路確保院内認定看護師)」取得のための講習会</p> <p>講師：外科医師、皮膚科医師、薬剤師、抗がん剤 IV ナース指導者、がん化学療法看護認定看護師</p>	18名
2023年8月7日(月) 2023年10月31日(火) 12月15日(金)	抗がん剤 IV ナース資格者研修	<p>■抗がん剤 IV ナース資格取得後の継続教育のための研修</p> <p>受講対象者：前年度に抗がん剤 IV ナース資格を取得した者、抗がん剤 IV ナース更新年にあたる者</p> <p>内容：CVポートに関するテスト・事例検討、末梢静脈投与の化学療法での血管アセスメントと投与管理についての事例検討</p> <p>講師：抗がん剤 IV ナース指導者、がん化学療法看護認定看護師</p>	計67名
2023年8月30日(水)	抗がん剤 IV ナース指導者育成研修	<p>■院内認定資格「抗がん剤 IV ナース指導者」取得のための研修</p> <p>受講対象者：抗がん剤 IV ナース資格を1回以上更新し、かつ既定の経験を有しており、指導者として活動する意志のある者</p> <p>内容：CVポートのトラブルシューティング(講義)、CVポートならびに末梢静脈投与の化学療法について抗がん剤 IV ナースへの指導方法の検討(グループワーク、ロールプレイ)</p> <p>講師：院外講師、抗がん剤 IV ナース指導者、がん化学療法看護認定看護師</p>	4名

<院内・院外 医療関係者全職種対象（化学療法委員会主催）>

開催日	研修名	内容（敬称略）	参加人数
2023年11月24日（金）	化学療法委員会公開セミナー （現地＋オンライン開催）	【演題】がん診療でおさえおくべき腫瘍循環器学 ～Onco-Cardiology 診療ガイドラインより～ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 成人病ドック科 主任部長 向井 幹夫 先生	31名 （現地25名 WEB6名）

<院内勉強会（化学療法委員会主催）>

開催日	研修名	内容（敬称略）	参加人数
2024年1月18日（木）	化学療法委員会主催院内勉強会	■抗がん剤曝露を防ぐために私たちができること 講師：化学療法委員会 薬剤師、看護師 ■あわてないで血管外漏出 ～対応と記録について～ 講師：化学療法委員会 看護師	31名
2024年3月21日（木）	化学療法委員会主催院内勉強会	■免疫関連有害事象(irAE)について ～これって irAE? 疑った場合の対応について～ 講師：化学療法委員会 薬剤師 ■irAEについて知らないとし川から○されること 講師：呼吸器内科部長 市川 紘将	43名

<看護部クリニカルラダー>

開催日	研修名	内容（敬称略）	参加人数
2023年9月8日（金）	レベルI「がん化学療法看護」研修	■血管外漏出、過敏症、インフュージョンリアクションについて 講師：がん化学療法看護認定看護師 高橋 由美	24名
2023年10月6日（金）	レベルI「がん化学療法看護」研修	■抗がん剤曝露対策、アンティリークの取り扱いについて 講師：院内認定看護師（がん化学療法分野）	26名

研修会実施状況一覧(令和5年度)(済生会新潟病院②)

<緩和ケア分野>

開催日	研修名	内容 (敬称略)	参加人数
2023年9月2日(日)	第14回 済生会新潟緩和ケア研修会	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針(平成29年12月1日付健発1201号第2号厚生労働省健康局長通知の別紙)に準拠した研修会	27名
2023年9月28日(木)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅢ 緩和ケア	テーマ:『緩和ケア～アセスメントを活かして実践してみよう～』 講師:済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	11名
2023年10月6日(金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅠ 入退院支援	テーマ『ACP』 講師:済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	25名
2023年10月15日(金)	済生会新潟病院地域専門職向け研修会 新潟市在宅医療・介護連携ステーション 西ご当地連携研修会	テーマ:『つらい患者さんの“わかってくれる人”になろう! ～ユニバーサル・ホスピスマインドをすべての人生のそばに～』 講師:めぐみ在宅クリニック 院長 小澤竹俊医師	44名 (現地)
2023年11月10日(金)	第1回 緩和ケア講演会	テーマ:『急性期における終末期ディスカッション』 講師:東京ベイ・浦安市川医療センター 平岡栄治医師	64名 (現地)
2023年11月24日(金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅢ 入退院支援	テーマ:『ACP』 講師:済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	11名
2024年2月8日(金)	看護部教育委員会主催 クリニカルラダーⅡ 入退院支援	テーマ:『ACP』 講師:済生会新潟病院 緩和ケア認定看護師 平澤和美	15名

令和5年度 キャンサーボード 実績

日時		担当	内容
8月23日	勉強会	呼吸器内科 藤崎 俊哉 医師	肺がんの薬物療法について
9月27日	事例検討	4C病棟	進行の早いターミナル期の患者とその家族へのケアについて振り返る
10月25日	事例検討	たちかわ訪問看護 ステーション	がん終末期患者の病院から在宅への退院支援について振り返る
11月22日	事例検討	外来化学療法室	がん患者のお金にまつわるエトセトラ
12月27日	症例報告	薬剤部	サイトカイン放出症候群
1月24日	事例検討	4D病棟	胃がん終末期患者の退院支援 ～在宅で過ごしたい患者・家族を支える～
2月28日	事例検討	5C病棟	患者の意思を尊重した看護とは ～デスカンファレンスを通しての学び～
3月27日	勉強会	緩和治療内科 齋藤 義之 医師	「『がん』の痛み」の近況報告 ～「自覚なく生じうる『知ったかぶり』」予防講座～

※ 予定した活動は開催できた。

参加人数は概ね15～40人であり、参加者が少ないことあったが、様々な職種からの参加があった。

研修会開催一覧（がん対象）

【令和5年度開催】

柏崎総合医療センター

◆市民向け◆

研修会名	開催日	講師	参加人数
がん患者・家族のためのサポートセミナー 「やりたいことをかなえるための方法 動いて！食べて！楽しんで！」	令和5年5月20日	作業療法士：佐藤修司 理学療法士：加藤哲 言語聴覚士：木村遼太郎	8人
がん患者・家族のためのサポートセミナー 「病院の相談窓口ってどんなところ？」 「在宅療養中の訪問看護について」 「地域包括センターの紹介」	令和5年11月18日	医療ソーシャルワーカー： 五十嵐規之	2人

◆医療者向け◆

研修会名	開催日	講師	参加人数
緩和ケア勉強会 エンゼルケア研修	令和5年12月1日～ 12月31日	緩和ケア委員会	
緩和ケア勉強会 看護師だからできるケア（症状緩和）を 一緒に考えてみませんか	令和5年12月22日	緩和ケア委員会	20名
緩和ケア勉強会 グリーフケアとエンゼルケア研修	令和6年2月5日～ 2月22日	緩和ケア委員会	22名

外来がん化学療法連携充実加算 薬局向け研修会 実施記録

2024年4月1日

研修内容

【当院における化学療法およびレジメン等の解説】

“免疫チェックポイント阻害薬と免疫関連有害事象について”

上越総合病院 薬剤部 樋口理恵

第1部 連携充実加算について

第2部 免疫チェックポイント阻害薬と免疫関連有害事象について

YouTube を利用した限定配信にて実施

配信日時；2024年3月1日(金)～2024年3月22日(金)

申込期間；2024年2月13日(火)～2024年3月8日(金)

対象：上越市内と近隣の市町村の保険薬局に勤務されている薬剤師

参加費：無料

参加薬局 8

再生視聴回数 23回

研修等実績状況

西新潟中央病院

2023年度 研修実績

番号	研修・講演名称	受講対象者	受講者数					合計	研修期間		研修目的	主な内容
			外部 医師	外部 その他	自施 設医 師	自施 設そ の他	患者 や家 族		開催日	日数		
1	第30回肺がん治療センター市民講演会（オンデマンド配信）	患者・家族等					107	107	9/1～ 9/10	10	一般市民にむけた肺がん治療の知識の普及	①肺を小さく切る②緩和ケアってどんなケア？③高額療養費制度
2	外来がん化学療法研修会（オンデマンド配信）	薬剤師等		25	1	6		32	2/5～ 2/9	5	がん化学療法について関係者への周知・連携を図る	免疫チェックポイント阻害剤と免疫関連有害事象
3	第31回肺がん治療センター市民講演会	患者・家族等					16	16	3/9	1	一般市民にむけた肺がん治療の知識の普及	①肺がんの内科治療②がん治療に向き合うための食事③肺がんの外科治療

令和5年度 研修会実施状況

佐渡総合病院

研修会名	開催日	講師	参加者数
がん診療トータルケア 他職種連携セミナーin佐渡	令和5年8月25日（金）	国立がん研究センター東病院 放射線治療科医長 全田 貞幹 医師	院内：37名 院外：11名
緩和ケアにおけるせん妄対策	令和6年2月28日（水）	佐渡総合病院 精神科医長 深石 翔 医師	院内：129名 （院内ポータル含む） 院外：0名

医療機関名	日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	がん看護専門看護師	がん薬物療法認定看護師 または がん化学療法認定看護師	日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師	日本医療薬学会 がん専門薬剤師	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	日本人類遺伝学会及び 日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	その他ご意見など ございましたら、 ご記入ください。
県立新発田病院	0	0	1	1	0	2	1	0	
新潟県立がんセンター新潟病院	3	2	5	1	0	4	2	0	
新潟大学医歯学総合病院	5	9	3	2	4	2	1	2	
新潟市民病院	3	2	0	1	2	0	1	0	
済生会新潟病院	1	0	0	1	1	0	0	0	
国立病院機構西新潟中央病院	0	3	0	0	0	0	0	0	がん性疼痛看護師は1名 います。
長岡赤十字病院	0	1	2	4	1	2	0	0	
新潟県厚生連 長岡中央総合病院	2	0	1	1	2	0	0	0	
立川総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	
柏崎総合医療センター	1	0	1	0	1	0	0	0	
魚沼基幹病院	0	0	1	1	0	2	0	0	放射線治療室にがん放射 線療法認定看護師、緩和 ケア室に緩和ケア認定 看護師を配置しています
新潟県立中央病院	1	0	2	0	0	0	1	0	
上越総合病院	0	0	0	0	2	0	0	0	
新潟労災病院	0	0	0	2	0	0	0	0	
佐渡総合病院	0	0	0	0	1	0	0	0	

医療機関名	貴院におけるがんに関わる看護師や薬剤師の人材育成の取り組み状況についてご記入願います。	貴院におけるがんに関わる人材育成における課題についてご記入願います。	その他(今後の研修会テーマなど)
県立がんセンター新潟病院	<p>【看護師】 ○がん看護の習熟に応じて、受講選択可能な3つのがん看護専門研修を設けている。 ・ビギナー:新卒看護職員、JNAラダーⅠやがん看護初学者(院内看護職員対象) ・ベーシック:JNAラダーⅡ以上(院内看護職員対象) ・アドバンス:JNAラダーⅢ以上(院内・院外看護職員対象) ○ELNC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの開催と受講推進(院内・院外看護職員対象) ○PEACEの受講推進</p> <p>【薬剤師】 ○当薬剤部は「がん指導薬剤師」の在籍が維持されており「がん専門薬剤師」および「がん薬物療法認定薬剤師」を継続的に育成している。これらの有資格者は常時5名以上在籍している。 ○有資格者はそれぞれの職務を通じて、新たに資格取得を目指す部員の支援に当たっている。特に、がん指導薬剤師は資格取得・更新希望者に対し症例毎の薬学管理や発表・論文について指導を行っている。 また、資格取得・更新に必要な費用について金銭的な支援がある。</p>	<p>○県立病院ということで県立病院間の移動があり、特定の分野で中心となっている看護師や薬剤師が異動すると業務が滞る可能性がある。 ○また、興味をもって特定の分野の知識を付けたとしても給与などにインセンティブがなくモチベーションの低下に繋がる。 ○アセスメント力の向上(がん患者の高齢化に伴い併存疾患の理解も併せて必要であるが、患者を多面的に捉える力が不足していると感じている。) ○OJTで支援する人材の育成(例えば、副看護師長やリーダー的な看護職員等) ○がん看護について、自ら積極的に学びを深めるための動機づけ ○専門看護師や認定看護師の自律的活動への支援 ○業務が圧迫しており人材育成にかかわる指導時間の確保が難しい。 ○人員不足により、資格取得を目指す職員を適切な業務に配置できない。</p>	がんゲノム、irAE、緩和ケア
新潟大学医歯学総合病院	<p>●がん専門薬剤師、がん看護専門看護師等の専門資格取得のサポート</p> <p>【薬剤師】 実際の業務を行いながら、「先人」が部員を指導することと、当人が自己研鑽することが主である。認定等、専門性を取得、あるいは維持する上で、学会等に参加する場合、可能な範囲での業務シフトの調整や出張であればその旅費等を一部補助している。</p> <p>【看護師】 当院におけるがん看護研修は、看護部キャリア開発支援研修で企画されており。特にクリニカルラダーⅢ以上対象の専門領域研修「がん看護」に関しては、がん専門看護師や緩和ケア認定看護師が企画を担当し、各回1時間程度で対面形式(全3回)＋事前e-learningのシリーズ研修として開催されています。専門的知識及び実践力強化や多職種連携による意思決定支援などそれぞれの学習目標を達成できるよう企画されており、がん治療に関わる部署の看護師のスキル向上に寄与しています。これらの研修は、専門及び認定看護師の活動に触れることでもあり、受講者一人ひとりのキャリア開発に向け動機づけを行う良い機会とも言えます。また企画担当サイドのスペシャリストにとっても教育という役割発揮の場となり、スペシャリスト同士の連携強化や組織横断的な実践に繋がると考えております。所属する外来化学療法部門の看護師に関しては、新規配属後2年以内を目途に院内がん看護研修の受講ができるよう教育計画を進めています。</p>	<p>がん診療に関わる専門資格を持つ人材が不足しており、既取得者の負担が大きい。</p> <p>【薬剤師】 がんだけに限らないが、がんに関わらない業務に携わることを可能な範囲で避けるようにし、一定期間、育成対象の人材をがん関連の業務に固定する必要があり、属人化が懸念される。育成対象の人選で希望者(又は候補者)が予定数以上の場合の対応</p> <p>【看護師】 外来化学療法部門は育児短時間制度を利用する看護師が多い部署であり、仕事と育児の両立に悩む子育て世代の役割拡大に向けた関わりに困難感を抱くことがあります。勤務時間内での研修受講や資格取得への動機づけなど、部署全体で育児支援者をサポートできる体制整備が必要と考えております。</p>	ACPや緩和ケアに関する研修会 地域連携の推進(診療報酬関連含む)、人材育成
新潟市民病院	<p>(看護師) 個人のキャリアプランを考えて行動するように看護目標に掲げています。 そのキャリアプランは看護師長が確認し、いろいろな院外研修等に受講できるようにしています。 がんゲノム医療コーディネーター、リンパ浮腫等、多岐にわたる資格も動機付けして取得してもらっています。 また、看護部のクリニカルラダー研修の中にトピックスでがんに関わる研修を企画しており、レベルに関係なく参加できるようにしています。 各部署に昨年からは緩和ケアリンクナースをおき、院内の緩和ケアチームとリンクできる体制にして活動をしてもらっています。 この活動を通じて、がん領域の認定看護師をめざす看護師が出てくることを期待しているところです。</p> <p>(薬剤師) 入職時にどの分野に興味があるか確認し、人材育成を進めています。方向性が定まらない、どの分野に興味があるか決まらない場合は、毎年意向を確認したり、院内のチーム活動(緩和ケアチーム)へ早い段階から参加してもらったりしながら、進めています。 全般的な知識に加えて、日常業務でも興味のある分野になるべく携われるよう考慮し配置しています。類似した分野での業務のローテーションを行いながら知識を深めてもらい、将来的には専門・認定制度を目指してもらっています。 学会参加等についても、年度始めに希望を取り参加費などの補助や、専門認定制度は金銭的な負担も大きいので、登録費や更新費などの補助を行い、個人負担を減らしています。</p>	<p>(医師) 癌診療に携わる消化器外科医の人材育成において、現状としては、外科医が癌の根治手術技術を習得するために、開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術それぞれに積極的に関与し、術者として責任を持って病状説明や手術に臨み、日々研鑽を積んでいます。しかし、薬物療法やがんゲノムプロファイリング検査に関しては、主に外来で実施されているため、外来診療の機会が限られている専攻医はこれらの経験が不足しています。また、外来診察室の数などハード面の制約もあり、専攻医に十分な機会を提供できていないことが課題となっています。</p> <p>(看護師) 各部署のリンクナースの動機づけからキャリアプランとしてどう変化したかなど評価して、人材育成の課題について考えたいと思っています。</p> <p>(薬剤師) 興味があっても専門認定制度を目指す人材が少なく、後継者が育成できていない分野もあります。取得、継続するには、それなりの覚悟が必要になるため、強制することもできず、段階的な人材育成が理想ではありますが出来ておらず、難しいのが現状です。</p> <p>(その他) 院内がん登録実務中級者の育成(産休育休、または異動などに伴う実務者不足が発生しない体制作り)</p> <p>(MSW) 三次救急を担う急性期病院のMSWとして、がん以外の他の分野(救急・精神・周産期等)の専門性も求められること、また、MSW個々の適性などから、がん相談支援センター相談員として配置できるMSWが限られています。 がんに関する認定看護師の退職後、後任の認定看護師が育成されておらず、当該分野の認定看護師が不在の状況のままとなっています。</p>	<p>・アンケートがどのように活用されて、どのように考えられているのか可視化したけると幸いです。 ・各施設が行っているチーム活動など、他の施設の参考になる取り組み内容についてあれば、聞いてみたいです。 ・MSW分野としては、「身寄りのない患者さんへの支援について」など</p>

医療機関名	貴院におけるがんに関わる看護師や薬剤師の人材育成の取り組み状況についてご記入願います。	貴院におけるがんに関わる人材育成における課題についてご記入願います。	その他(今後の研修会テーマなど)
長岡赤十字病院	<p>薬剤師 ■年間スケジュール→当院HP参照(薬剤部新人教育) 薬剤師の業務を幅広く経験してもらい、臨床に即した知識・技能を学べるようにサポートしている。</p> <p>看護師 ■各部署ごとの人材育成計画に沿って行われている ■認定看護師(がん関連分野)で、がん看護実践能力別課題を一覧にし、そこで挙げた課題について学習会を企画実施(年3~4回程度、時間外に約1時間程度の研学会) 2023年度は、がん化学療法について2回、意思決定支援、がん看護の基礎 ■各部署から講師依頼があればその部署のニーズに合わせて出前講師 ■緩和ケア研修会に毎年各部署から参加してもらう ■緩和ケア推進委員会では院内外に向けて年に2回程度学習会実施 2023年度は、医療用麻薬の活用について ACPについて ■緩和ケアサポートチーム看護部会という委員会内で疼痛コントロールやACPなど学習会実施</p>	<p>■学習会や研修会の参加は必須ではなく、個人の意識によるものも大きい→学びたいと思わせる工夫が必要 ■各部署での人材育成計画や目標がそれぞれ違い、がん患者と関わらない部署もあるため、院内の必須研修(時間内の研修)にしにくい ■認定看護師が講師となることが多いが、講義部分の準備などは業務時間内にとりにくく負担はある(が、依頼があれば認定看護師の役割として基本的には断らない) ■学習会や研修での学びを臨床での実践で活用するためのフォローアップ体制</p>	<p>当院で今後企画されている研修のテーマ 11月1日 ACP 抗がん剤をいつやめるか?どうやめるか?</p>
長岡中央総合病院			
新潟県立中央病院	①がん領域における認定薬剤師、がん看護専門看護師、認定看護師など資格取得の補助。②所属部署/業務配置への配慮。③各部門の専門研修の講師や受講 など。	①兼務業務が多い。②資格取得後のフォロー体制が不十分。③資格取得後の給料手当なし ④マンパワー不足あり、希望する部署への配置が難しい ⑤費用負担	がんゲノム医療
新潟県立新発田病院			
魚沼基幹病院	看護部では、認定看護師による研修を行っている。化学療法:毎年シリーズとして実施。月1回を6~7回。緩和ケア:毎月チーム内での症例検討。年1回全体研修。放射線:認定看護師会の中で年1回。薬剤部では、病院薬剤師会が主催しているがん集中講義を受講し情報のアップデートを図っている。その他、腫瘍センター主催及び通院治療室主催の勉強会を開催している。	看護部:入院中のがん患者の今起こっている症状(状況)にしか関われない。がん患者だからという視点が養えていないため、今後起こりうる変化を見越して関わることができない(難しい)。薬剤部:日常業務が多忙により専門薬剤師を目指すモチベーションの低下。専門・認定を取得しても手当等に反映されない。	今年度、「ゲノム」をテーマとし、外部(魚沼圏域)を含む研修をサテライトで年3回予定している。
新潟労災病院	特になし。	特になし。	特になし。
済生会新潟病院	<p>【看護師】 ・看護部教育委員会クリニカルラダーⅠ(新人)、Ⅱにがん看護に関わるものが入っていれば対象者全員が参加となる。しかし、教育内容は看護部教育委員会が決められているので、年間計画の見直しで突然翌年からがん看護に関わる研修がなくなるということもある ・抗がん剤IVナースの育成(化学療法委員会を中心として看護部教育委員会と協力して実施) ・自己研修としての研修は下記 :各分野の認定看護師が開催しているナース講習会(開催しない分野や開催しない年もある) :緩和ケア研修会やELNEC-Jを当院で開催する場合は、積極的に参加を呼び掛けている :看護協会等の院外研修</p> <p>【薬剤師】 新人には数年間レジメン申請書・セット作成業務に携わってもらいながら確認すべきポイントなどを学んでもらっている。</p>	<p>【看護師】 がん専門病院ではないので、全員にがん看護の教育というものができない。ほとんど自己研修になってしまうので、各自のやる気や興味に左右される。 【薬剤師】 がん治療に関わる業務に携わっていないと育成が難しいこと。</p>	<p>【看護師】 ・今回、人材育成についてディスカッションする予定とのことだが、それを踏まえていくつかの施設から人材育成の状況や取り組みの発表を聞きたい ・irAE対策などのチーム医療の現状 ・ケモブレインについて ・がん治療中(化学療法中)の運動療法 ・認知機能が低下してきている患者への意思決定支援</p>
立川総合病院	<p>看護師→消化器内科が事実上稼働しておらず、がん患者は減少しております。 定期的なキャンサーボードの開催で自己研鑽をしているのが現状。 薬剤師→病院勤務の薬剤師が圧倒的に不足しており、日々の業務で手一杯。 人材育成までは到達できていないのが現状です。</p>	人材育成出来る環境にすることが当面の課題です。	特になし。
柏崎総合医療センター	<p>【看護部】 ・看護部緩和ケア委員会で終末期、緩和ケアをテーマにした研修会を行っている。 ・がん看護に特化した人材育成の取り組みはない。</p> <p>【薬剤部】 ・がんに関わる研修会への参加補助。 ・がんに関わる業務を担当してもらう(やり甲斐や適性を考える機会にする)。 ・院内の症例検討会に積極的に参加してもらう。 ・資格更新のための研修会等への参加補助。</p>	<p>・医師は若手のローテーターが多いため、関りが難しい。 ・看護師は若手の育成に尽力しているが、中堅看護師の人員数が少なく、がんの特化した育成の取り組みまで達成できない。 ・病院としてもがん教育に対する取組みに至らない。 ・地方の病院は高齢化が上昇しており、認知症・高齢者の看護が主体となっている現状が背景にあると考える。</p>	特になし
上越総合病院	<p>患者対応、抗がん剤のミキシングをローテーションで対応させ、個人の意欲と適正を見えています。 資格取得を目指す人材には、研修会の費用負担をし、症例報告作成の時間や環境調整は本人に確認して進めています。 また、資格取得を目指す人材には有資格者が症例報告や学習の仕方についてアドバイスしています。 ただし、資格取得者であっても日常の活動が評価できなければ支援していません。</p>	限られた人材(職員)の中では複数の資格者を育成する余裕や必要性が認められない可能性がある。	特になし
西新潟中央病院	<p>新規抗がん剤やレジメンについて薬剤部内で勉強会を開催している。 定期的に抗がん剤投与に関わる看護師に対して薬剤部より勉強会を行っている。</p>	<p>抗がん剤の投与に関わる看護師以外の看護師に関しては知識が不足しているように感じている。 当院は肺がん患者に足して化学療法を行っているため、他の疾患に関する知識が薬剤部内でも不足している。</p>	より良い治療を行うためには人材の育成は重要になため、他の施設の意見等から学びたいと思います。
佐渡総合病院	<p>・緩和ケアに携わっているチーム内での学習会→各部署へのレクチャー ・緩和ケア研修会(PEACE)への参加促進</p>	<p>・認定看護師が少ない。 ・地理的に受講のハードルが高い。</p>	・特にありません。